

表1. ニーズ分析①:医療従事者のニーズと外国人のニーズ

1. 医療従事者のニーズ

ニーズの種類		要約
医療通訳派遣		HIV陽性者の受診時の通訳派遣依頼(一般、妊産婦支援、母子感染予防内服支援、母子陽性者内服支援、帰国支援) HIV陽性者以外の通訳派遣依頼(妊産婦、児童相談所、DV保護施設、手術前後、等) 支援員を派遣したことで病状や治療が良く理解でき、不安内容等も把握できたと保健師より感想が寄せられた
行政・自治体における医療通訳派遣制度の整備		結核患者療養支援のために医療通訳派遣が必要だが自治体に通訳派遣制度がない 通訳の利用が不可欠だが通訳への謝金を出す制度がない 医療通訳を依頼するため資金源が病院側にない
外国人療養支援の知識・情報提供		通訳派遣の経費は患者またはNGOが負担するものと考え、病院側で取り組む意思がない 日本に定住する外国人患者でも母国に帰るのが最善と考えている 開発途上国と日本との間に医療制度の差異があることを理解していない シェアで母国語対応ができる中、英語ができるからと英語で依頼が来ることがあった。結果的に母国語で対応したほうが良かった 至急対応すべき病状だが医療費が払えない外国人患者への対応の相談
法律・在留資格・医療費・福祉の情報提供		在留資格や医療費等、福祉・法律に関する情報の不足 保健師が服薬支援する上で在留資格に関する知識や情報がほしい
出身国(海外)のHIV医療情報		外国人HIV陽性者の出身国の医療情報提供
帰国支援		外国人HIV陽性者の帰国支援
外国人療養支援教材の提供		外国人療養支援ハンドブックやパンフレットの提供
各言語対応の健康教育教材提供		日本語学校の学生向けの結核の健康教育用の良い教材が欲しい

2. 外国人のニーズ

ニーズの種類			要約
医療通訳派遣	外国人向け行政書類の整備	医療従事者に相談しやすい環境	言葉の問題で手術や検査の同意書について理解できないまま同意・サインしたが、不安になり同意書の内容を説明して欲しい 出生届の書類の意味・書き方がわからず、病院スタッフにも相談できないためシェアに教えて欲しい
医療通訳派遣			医療機関受診時に通訳をつけて欲しい 健康相談会では支援してくれることで、母国語でいろんなことを話しているが、通訳がいない医療機関では話せない
出身国(海外)のHIV医療情報			日本で処方されている抗HIV薬が出身国や他国で処方・購入できるのか相談。金額、種類、処方してもらえる病院、等 出身国や移住先のエイズ医療情報
日本国内の(HIV)医療情報			日本国内の医療機関情報(女医対応のクリニック情報、等) 言葉や経済的問題があり、円滑に受診できる病院を紹介して欲しい HIV抗体検査ができる場所と検査の詳細
帰国支援			外国人結核患者が治療途中で帰国すると出身国で治療にうまく繋がらず治療中断になるケースが多いという情報を得た 帰国支援
法律・在留資格・医療費・福祉の情報・支援			在留資格、医療費、生活保護等の問題 排菌しなくなった患者は医療費を一部負担するため、支払い困難で治療中断に陥る可能性のあるケースがあった
安心して健康相談会(医療)にアクセスできる環境			健康相談会会場前で行商の外国人が警察に職務質問を受け会場が混乱 超過滞在になってしまった結核患者が警察に捕まることを恐れて治療を中断していた
学校健診の充実			20代学生の中には来日して数ヶ月で結核を発症していた 日本語学校が学校単位の健診を省くために多数受診者を送ってきた
各言語対応の健康相談会チラシ・パンフレット提供			多言語対応のチラシだけでなく、各言語のチラシ・ポスターを作って欲しい
健康相談会の開催			不況の影響で解雇され医療にアクセスできない状況が起きていることに 対して、外国人コミュニティから健康相談会の開催を依頼
同国人、同民族人との協力体制			同じ国の人でも各民族の情報網で広報を行わないと周知されない